オリンピックによせて（4）

市スポーツ振興審議会長　沢村武

世界の視聴を集めた第十一回オリンピック大会の開会式は、八月一日ベルリン郊外の巨大な、メエーンスタジアムで挙行された。

大会の花であるこの開会式を見たものとドイツ国内は勿論国外より集まった観衆は午後一時より夫々の門より徐々に入場が開始された。この晴れの国際競技場では早朝より数千の黒色褐隊、褐色突撃隊が出動してかねての手配通り、秩序整然と準備を進めていたので何等混雑することなく十数万の観衆は、夫々定められている場所に着いた。勿論、観覧席は、等級によって区別されていた。私は日本を出発するとき、等指定席各会場通の券を持っていたので楽であったが、ドイツ国内のものでも切符が手に入らないで入口でこれを欲しがっているものが非常に多かった。

一方オリンピック村では各国選手が陸軍のバスをつらねて競技場で出々とした一条の道を威勢よく乗込み二時過ぎには、五大陸から馳せ参じた五十二ケ国の代表六千余名の選手がマラソン塔トンネル入口で入場の態勢を整えている。国際オリンピック委員、ベルリンオリンピック組織委員、ドイツ各閣僚、各国大公使等所定の位置についた。

大鐘塔のコリンピック・ベルは若人の血をそそるようにカラン・カランと鳴り響き、観覧席の周囲の上に整列していた赤ボールの上には一斉に参加五十二ケ国の国旗が高々と掲揚された。これと同時にマラソン塔トンネル入口よりオリンピック「オリンピックの父」クー十名が胸に日の丸のブレザー姿を揃えて堂々行進し拍手を浴びた。六千余の選手団は夫々自国の特徴を発揮しつつトラックを一周芝の色も真新しい競技場内野に各国別に整列を終えた。

ベルタン男爵の言葉が拡声機で放送された。次いでドイツ総統は「余はここに第十一回オリンピック大会の開会を宣す」と叫んだ。破れるような拍手のどよめきの中に掲示板上のメーンポールに五輪の大会旗がするすると掲揚された。

オリンピックを象徴するこの五輪旗がはじめてオリンピック大会のメーンマストに翻えったのは第七回（一九二〇年）アントワープ大会である。青、黄、黒、緑赤（背が一番旗竿に近い）の五つの輪が組合せられているのは、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、アジア、オーストリヤの五大州がオリンピック運動を通じて親善提携を象徴したものである。来るべき東京大会にもこの旗が掲揚される。

次いで福砲が轟きその中、数千羽の鳩が放たれた。

このとき車の入口に聖火が到着した。荘厳な、開会式に聖火の行事が加えられたのはこのベルリン大会からである。これは、スポーツ儀礼の発案者ドクター・ディムス氏の提唱によるものである。

ここに到着した聖火は、七月二十日古代オリンピアの神前の聖火を炬火に移し、野を横切り、山を越え行程三〇五七キロ七ケ国を通過し、この聖火捧持の役に任じたものは、三千余名に達したと云われている。

この聖火は、一八九六年の第一回オリンピックのマラソンの勇者であるギリシャの老ルイス選手によってトラックを一周怒濤のような歓呼拍手の裡にマラソン門上の大鼎に移された。この聖火は会期十六日間世界の若人が「より高く」「より強く」「より速く」をモットーとして演ずるゲームを見つめて燃えつづけた。東京大会の聖火もギリシャから渡って来ることである。ルイスが絶続に勝利のシンボル橄榄（オリーブ）の枝を渡した。ドイツ重量上げの選手イスマイルが選手壇上に宣誓、「アマチエアー運動精神によって正々堂々と戦わん」と宣誓した。数々の儀式も滞りなく取り行われ午後五時半終了した。

発祥地であるギリシャとしるした国旗を捧げた国国選手団を先頭にアルファベット順に各国選手団が姿を現わした。

わが日本選手団は二十七番目大島主将の捧げ持つ秩父宮殿下下賜の日章旗を先頭に平沼団長以下男女二百数十名が胸に日の丸のブレザー姿を揃えて堂々行進し拍手を浴びた。六千余の選手団は夫々自国の特徴を発揮しつつトラックを一周芝の色も真新しい競技場内野に各国別に整列を終えた。

第二回南国市展が、十一月一日から十八日まで、絵画（日本画、洋画）書道、彫塑、工芸、写真、漫画の六部門にわたって開かれることはまことにうれしい。月と芸術乃至は芸術に対する関心の多少は、その国その地方市民の文化の程度を知る一つの目安ともなるものであろう。南国市展発足の意味も又そこにある。経済的に豊であると同時に、文化的にも水準の高い教養のある市民を育てたいと思うのである。

発足当時は色々と困難な問題もあるにはあったけれども、市民の皆さん方のご協力により、毎年開催の基盤ができたことは何よりも嬉しいことである。美術の各部門に志ある人々は自分たちと張りつめた大気の中にすでに秋の序曲が始まっている。六大都市をはじめ全国各地でも大小各種の美術展が続々と開かれており伏はまさに美術と共にの感を深くする。

第二回南国市展が、十一月一日から十八日まで、絵画（日本画、洋画）書道、彫塑、工芸、写真、漫画の六部門にわたって開かれることはまことにうれしい。月と芸術乃至は芸術に対する関心の多少は、その国その地方市民の文化の程度を知る一つの目安ともなるものであろう。南国市展発足の意味も又そこにある。経済的に豊であると同時に、文化的にも水準の高い教養のある市民を育てたいと思うのである。

発足当時は色々と困難な問題もあるにはあったけれども、市民の皆さん方のご協力により、毎年開催の基盤ができたことは何よりも嬉しいことである。美術の各部門に志ある人々は自分たちと張りつめた大気の中にすでに秋の序曲が始まっている。六大都市をはじめ全国各地でも大小各種の美術展が続々と開かれており伏はまさに美術と共にの感を深くする。

第二回南国市展が、十一月一日から十八日まで、絵画（日本画、洋画）書道、彫塑、工芸、写真、漫画の六部門にわたって開かれることはまことにうれしい。月と芸術乃至は芸術に対する関心の多少は、その国その地方市民の文化の程度を知る一つの目安ともなるものであろう。南国市展発足の意味も又そこにある。経済的に豊であると同時に、文化的にも水準の高い教養のある市民を育てたいと思うのである。

発足当時は色々と困難な問題もあるにはあったけれども、市民の皆さん方のご協力により、毎年開催の基盤ができたことは何よりも嬉しいことである。美術の各部門に志ある人々は自分たちと張りつめた大気の中にすでに秋の序曲が始まっている。六大都市をはじめ全国各地でも大小各種の美術展が続々と開かれており伏はまさに美術と共にの感を深くする。

第二回南国市展が、十一月一日から十八日まで、絵画（日本画、洋画）書道、彫塑、工芸、写真、漫画の六部門にわたって開かれることはまことにうれしい。月と芸術乃至は芸術に対する関心の多少は、その国その地方市民の文化の程度を知る一つの目安ともなるものであろう。南国市展発足の意味も又そこにある。経済的に豊であると同時に、文化的にも水準の高い教養のある市民を育てたいと思うのである。

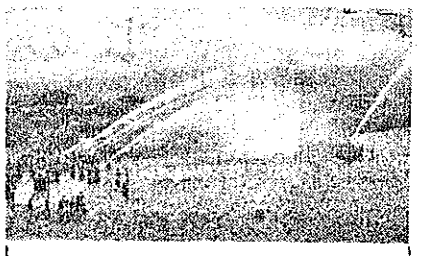
発足当時は色々と困難な問題もあるにはあったけれども、市民の皆さん方のご協力により、毎年開催の基盤ができたことは何よりも嬉しいことである。美術の各部門に志ある人々は自分たち市民の展覧会としてどしどし出品されるよう、また一般市民の方々も進んで観賞し教養を高めると同時に一体となって、市展の発展向上に協力して頂くことを心から願っている。

第一回展では参加人員六十七名、作品数百二十八点という他市のそれに比べて非常にすぐれていただけに、本年度の第二回展は質量共に第一回展をはるかにしのぐものであることは期待出来たのであるもしく思っている。また今年は既報の通り審査を設けることとはあるし、新人の出品は勿論、既成作家の方も、一段と快心の努力作品を出品されるよう祈ってやまない。また本年は南国市展の歌も出来開場の式典も、有意義なものとなることであろう。

おしむらくは、県下第二の都市南国市に、ふさわしい展示場ともなる中央公民館のないことであり、早くその実現を望むと同時に、この市展が一つの推進力ともなればと念願してやまない。（市展実行委員長）

市展を盛大に

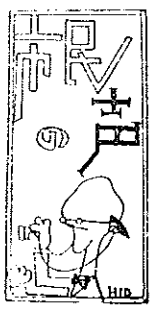
岡村次



（こ）れから火事が多くなる。さる二十六日には里改田で屋火事があり、火元の人たちは在宅、消防団の出動も早かったが、それでも全焼し損害六十万円を出した。

（市）民一人一人が火気を注意して取り扱い、防火のこころがまえを固めよう。＝写真は有事に備える猛南消防連合演習

金力にまけるな



締切　毎月二十日
宛先き　広報委員会

来年は選挙の当り年と言われ、大小様々な選挙が目白押しに行なわれる様である。そしてすでに、あの手この手の事前運動が行なわれると共に、取締の当局の目もまた光っていると言われている。今までも各選挙の都度、関係官庁、各種団体、新聞などが、声を大にして公明選挙を呼びかけているにもかかわらず、明かるい選挙が行なわれないのはなぜだろう。前にも誰かが、金の使い次第にすればかえって効果がありはしないかとの意見が発表されていたが、なんとか根本的に改めなければいけない。公明選挙を呼びかけても、無駄に終るのみではあるまいかとところで来る十一月には市の議会議長の改選があるはずで、すでに市内の某所に集ったそうだなど、自薦議長候補が裏面工作をしているとのうわさがたっている。

前の改選期にも、高知へ何回か行ったそうだ。後兎の声を聞いた。こうした裏面工作により、手腕も力量も共になく、ただ名誉欲にかられる人が、議長の要職についてしかるべきだろうかまた議員も議員だ、わずかなふる舞い酒や、甘くされ金におどらされ、金によって地位を得んとする如き、人間の風上にもおけない様な人が、議長の要職に選ぶとは何事だ。しかもそれがわれわれ選良の議員のしたことかと思うとほんとうに腹立たしくなる。

議員諸公よ、反省せよ、わが南国市は今一億数千万円もの赤字をかかえ、再建途上にある重大な危機にあるはずだ。

その時にあたり、もう少し慎重に、南国市再建のためはずかしくない行動を取ってはどうか。

反省せよ、議員諸公最後に重ねて言う、金で地位を得んとするような人物は完全にしめだしてしまえと。（市民生）

生活保護と民生委員

大分前の高新誌者の広場に生保家庭がテレビやバイクを保有していても、基準額の引上げにより差しつかへなくなった。こうした他人の幸福をねたんだり、ひねくれたりするなどの記事が出ていたが、支給する生活保護費は働いても食ってゆけない家庭へ、生活費として支給するものであって、この金でテレビやバイクを買いなさいと支給するものでないと思う。またこうした金が、われわれの血税によって充てられている所に問題があるのではあるまいか。

保護費をあてにして正業につかず、バイクを乗り廻日中テレビを楽む保護家庭の者が、真黒けになって働いているわれわれを見て、この俗言の様な気持になっているのではあるまいか。

又こうした事件を取りあつかう民生委員が、はたして適任者が選ばれているのだろうか、こうした点にも検討する必要がありはしないか。偽善のかたまりの様ないかがわしい者はその資格なしとし、交迭さすか適任者として資格が出来るよう再教育するよう当局へ切望するものである。（市民生）

私の見た身辺の農業

南国市一円を見て廻ったわけではないが、私の見たところ、聞いた範囲では、昨年より加温、無加温のビニールハウスによる園芸農家が大分増加している。

この人たちになぜ初めたか聞いてみると一致して米だけではやっていけないからだと言っている。米の収量は今年は不作であったが、最近はぐんと収量が増加している。それでやっていけないのは、ずばり言って米価が安いためである。

田を売りたい者、小作に出したい者が大分いる。私もその一人である。なかなかうまくいかない。今年は二番を作らずに草をはやした田が所々に見かける。米を作ってソロバンが立たないから田の買手がなく、小作のしてもないのだ。私の部落は農家が約六十戸あるタバコ耕作農家も相当数ある。これらの農家がタバコ耕作の増反をし、また昨年から今年にかけて六戸ばかり増えている。まだまだ増えそうだが、これもやはり米価が安いためだ。

鉄空（ロケット）

句集　南国

小松六尾選　募集

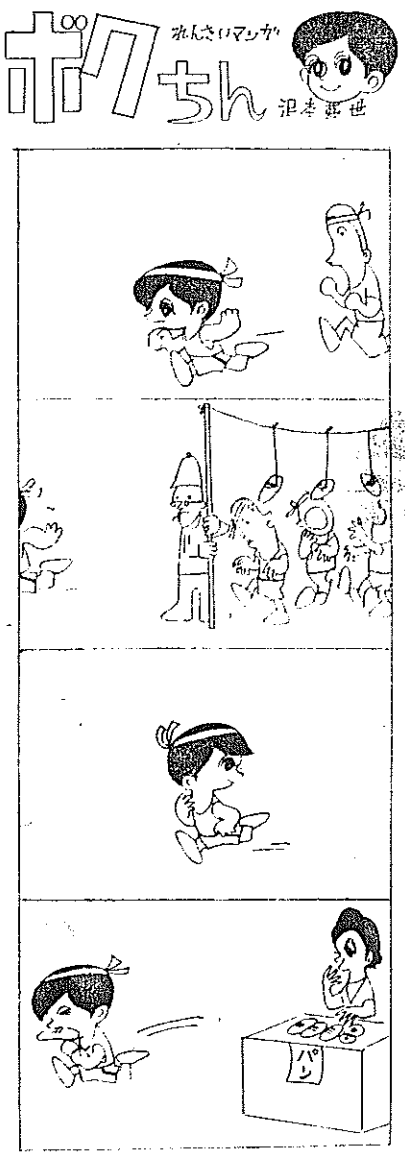
投句数　当季雑詠三句、月末締切、投句、方法、ハガキに自筆で三句を記し、住所氏名（号）を記載の事、送先　南国市大埔字弘井内　西岡双鳥子

波除の虫鳴く闇を裏と呼ぶ　浜田豊子
彼岸花鶏舎に映えて初明　片山吉川
死す如く生きる水母や暑し　稲生浜田
短夜の妻の遺言を夢に見る　稲生沢田
豊作の稲田の中の物干場　稲生沢田
種まきを終り山影迫りくる　前田中
金魚玉泳ぎ刺りて外に出ず　中町磯井
挽みたる帯の落穂にとぶ蝗　磯崎政子
秋深き蔵の鍬胸中の鍬　北村淳々子
灯台の光圏不変にして夜半　伊藤黄塵
ねこじやらし　真昼はものゝ忘れつ昼く　小松六尾
川に雷雲輸出　びき生き水ちう　油煙章
秋の蜻蛉が双耳となり転ぶ　小笠原淳
鎌先に日のある限り秋耕す　西岡窠山子
潮騒の遠くにありぬ蚊やり香　稲生浜田とし子
貫之の館の跡も草いきれ　国分岩崎薇香
女同志話し合ふ間もふくべ太る　稲生井上文子
見られたくなし梅雨の秤の錆おろす　稲生前田昭子
二番稲よく育つ馬鹿りいて　稲生北村菊女
ひぐらしの本立の中の墓所　稲生山本和子
病む母に今年も秋の祭くる　大埔西岡双鳥子

次回選者　北村淳々子

岩村記念俳句大会

灯を消せば病に万の虫生きる　浜田豊子
侘びしさは掌に糞虫をころがしつ　山崎きみえ
さくろ裂け頬ひりひりと吾子馳ける　和田ひでみ
豊作の肩ふれ合ふて脱穀す　井上なるき
妻陪胎睡りの深さに月細る　大畠新草
顔剃られをり鰯雲ふゆる　三宮たかし
電工夫西日に焦す咽喉ぼとけ　西木かよ子



高級御洋服とレディメード婦ズボン
西田洋服店
後兎中町（相銀前）電話3063
有線　155—13

ブルトーザー施工
吉本鉄工所
南国市日章立田
ETL（日章）26

解りやすい国際問題の解説
◎送料（郵便切手）だけ送れば毎月直接本人に送本さる。
◎「世界の動き」（A5版32頁）送料（半年分10円切手6枚　1年分12枚）
◎申込先　東京都千代田区霞ケ関2の2　外務省情報文化局庶務室

毛糸
トーア、スキー
ローレス、カネボー
後兎西町　富士屋百貨店
TEL248

お見合に
御婚礼に
山崎写真館
南国市後兎中町
電話　南国354